

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	国際物流論Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0129			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	村山 雅子						
到達目標							
物流システムの問題点、今後の課題について基礎的な知識を習得する							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	物流システムの問題点、今後の課題について基礎的な内容を説明できる。			物流システムの問題点、今後の課題について基礎的な内容を不十分ながらも説明できる。		物流システムの問題点、今後の課題について基礎的な内容を説明できない。	
評価項目2	物流が注目された背景や現状について説明できる。			物流が注目された背景や現状について不十分ながらも説明できる。		物流が注目された背景や現状について説明できない。	
評価項目3	現代社会における物流の役割、機能について説明できる。			現代社会における物流の役割、機能について不十分ながらも説明できる。		現代社会における物流の役割、機能について説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 1							
教育方法等							
概要	物流が注目された背景や現状、問題点を学習する。現代社会における物流の役割、機能と今後の課題について理解する。						
授業の進め方・方法	講義						
注意点	当科目では、ノート作成の際に、板書に加えて講義中に説明した内容を各自記述することにより、理解を進めていくこと。内容について、ただ暗記するのではなく、内容の理解と自らの考えを深めていくよう促したい。評価が60点に満たないものは、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を60点とする。評価方法及び評価基準は、本試験と同じとする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	航空貨物アライアンス		航空貨物アライアンスの概念について説明できる。		
		2週	物流業におけるアライアンスとM & A		物流業におけるアライアンスとM & Aの概念について説明できる。		
		3週	国際物流と複合一貫輸送		国際複合一貫輸送の定義と形態について説明できる。		
		4週	国際複合一貫輸送		国際複合一貫輸送の主要なルートについて説明できる。		
		5週	国際複合一貫輸送②		国際複合一貫輸送の主要なルートについて説明できる。		
		6週	世界・アジアの国際物流市場の動向		世界・アジアの国際物流市場の動向について説明できる。		
		7週	世界・アジアの国際物流市場の動向②		世界・アジアの国際物流市場の動向と日本の現状・課題について説明できる。		
		8週	国際物流の構造変化		国際物流の構造変化について説明できる。		
	4thQ	9週	中間試験		16回から23回の既習範囲について試験を行う		
		10週	多国籍企業のロジスティクス戦略		ロジスティクスの概念とその展開について説明できる。		
		11週	多国籍企業のロジスティクス戦略②		国際ロジスティクスの概念について説明できる。		
		12週	国際物流とアウトソーシング		国際物流のアウトソーシングについて説明できる。		
		13週	インテグレーター		インテグレーターの定義について説明できる。		
		14週	物流拠点		空港政策について説明できる。		
		15週	期末試験		既習範囲について試験を行う。		
		16週	成績確認		期末試験の成績を確認する		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	80	0	0	0	0	20	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0